

緊急事態等におけるハザード別の情報提供の場合分けめやす(修正案)

健康影響の程度等 ハザード等の分類・種類等		現時点で健康影響は確認されていないが、科学的知見に基づき今後も影響は想定されず、社会的反響が大きいと考えられる。	現時点で健康影響は確認されていないが、科学的知見がないあるいは十分でなく、今後の影響は不明で、社会的反響が大きいと考えられる。	現時点で健康影響が確認されているまたは今後影響が想定される。	備考 作成の有無や今後想定される事案の例など
		①	②	③	
ハザード等の分類	ハザード等の種類等				
化学物質	基準値や参照用量等(ARFD、ADI、TDI)の設定がある物質 [ハザードの事例] メタミドホス、ジクロロポス、アセタミプリド	◎			◎ H20訓練時に作成 (×国産の農産物□□から) カドミウムが検出された。
	その他(上記以外) [ハザードの事例] 発癌物質				● 食品□□から発癌物質 △が検出された。
微生物・ウイルス等	調理、加熱後に喫食される食品 [ハザードの事例] 細菌類、細菌生産毒素				
	そのまま喫食される調理済み食品あるいは生食される食品 [ハザードの事例] 細菌類、細菌生産毒素、ウイルス、寄生虫、原虫	○			○ H21訓練時に作成 (×国産の生鮮果実□□から) ノロウイルスが検出された。 ● 加熱不十分の成型肉から腸管出血性大腸菌(O157)が検出された。
自然毒等	基準値や参照用量等の設定がある物質 [ハザードの事例] アフラトキシンB1等一部カビ毒、フグ毒や麻痺性貝毒等一部マリントキシン等				● ○○産のムール貝の可食部から麻痺性貝毒が検出された。
	その他(上記以外) [ハザードの事例] カビ毒、マリントキシン、きのこ毒等				
その他(分類不能のもの等)	[ハザードの事例] スギヒラタケ等原因不明なもの、未審査遺伝子組み換え作物				● 未審査遺伝子組み換えとうもろこしが混入した種子により生産されたとうもろこしが販売され、一部消費された。

別紙

緊急事態等においてけるハザード等に対応し別の充実すべき情報提供の場合分けめやす(例修正案)

ハザード等の分類・種類等			健康影響の程度等	現時点で健康影響は確認されていない、科学的知見に基づき今後も影響は想定されないが、社会的反響が大きいと考えられる。	現時点で健康影響は確認されていないが、科学的知見が十分でなく、今後の影響は不明で、社会的反響が大きいと考えられる。	現時点で健康影響が確認されているまたは今後影響が想定される。	備考 作成の有無や今後想定される事案の例など
ハザード等の分類			ハザード等の種類等	①	②	③	
化学物質	ADIやTDIの設定の有無	基準値や参照用量等(ARFD、ADIや、TDI)の設定がある物質	〔ハザードの事例〕 メタミドホス、ジクロロホス、アセタミプリド	◎			◎ H20訓練時に作成 X国産の農産物□□からカドミウムが検出された。
		その他(上記以外)なし	〔ハザードの事例〕 発癌物質				● 食品□□から発癌物質△△が検出された。
微生物・ウイルス等	対象食品の通常の喫食方法	調理、加熱後に喫食される食品	〔ハザードの事例〕 リステリア菌、ボツリヌス菌、腸管出血性大腸菌(O157)、腸炎ピブリオ、黄色ブドウ球菌、カンピロバクター、サルモネラ菌等 細菌類、細菌生産毒素				● 食品○○からリステリア菌が検出された。 ● 食品○○からボツリヌス菌が検出された。
		そのまま喫食される調理済み食品あるいは生食される食品	〔ハザードの事例〕 ノロウイルス、リステリア菌、ボツリヌス菌、腸管出血性大腸菌(O157)、腸炎ピブリオ、黄色ブドウ球菌、カンピロバクター、サルモネラ菌等 細菌類、細菌生産毒素、ウイルス、寄生虫、原虫	○			● 食品○○からリステリア菌が検出された。 ● 食品○○からボツリヌス菌が検出された。 ○ H21訓練時に作成 X国産の生鮮果実□□からノロウイルスが検出された。 ● 加熱不十分の成型肉から腸管出血性大腸菌(O157)が検出された。
自然毒等	ADIやTDIの設定の有無	基準値や参照用量等の設定がある物質	〔ハザードの事例〕 アフラトキシンB1等一部カビ毒、フグ毒、や麻痺性貝毒等一部マリントキシン等				● ○○産のムール貝の可食部から麻痺性貝毒が検出された。
		その他(上記以外)なし	〔ハザードの事例〕 スギヒラタケ、カビ毒、マリントキシン、きのこ毒等				
遺伝子組み換え食品その他(分類不能のもの)	国内安全性審査の有無(諸外国の審査の有無)	あり	〔ハザードの事例〕 スギヒラタケ等原因不明なもの、未審査遺伝子組み換えトウモロコシBt10作物				● 未審査遺伝子組み換えとうもろこしが混入した種子により生産されたとうもろこしが販売され、一部消費された。
		なし	〔ハザードの事例〕 その他海外未審査農産物				

意見及び修正案一覧

意見者	意見	修正案
岡部専門委員	・ハザード等の分類において、4分類されているが、スギヒラタケ等現時点で不明なハザード等も整理できるような「その他」を設定してはどうか。	○ハザード等の分類において、「遺伝子組み換え食品」を削除するとともに、「その他(分類不能のもの等)」を設定し、4分類とする。 ○[ハザードの事例]について、「スギヒラタケ」を自然毒等の分類からその他(分類不能のもの等)に移動し、「スギヒラタケ等原因不明なもの」と記載する。
春日専門委員	・ハザード等の分類のうち微生物・ウイルス等の分類に関して、消費者からの視点に立つと食品そのものの汚染について不安を持つ傾向にあることから、その食品に関するメッセージを発する必要があることを踏まえ、汚染された食品の性質で場合分けすることが適切であると思う。そこで、表現について、例として、加熱は「調理(加熱)後に喫食される食品」、生食は「既に調理(加熱)済みあるいは生食される食品」のように修正してはどうか。	○ハザード等の分類のうち微生物・ウイルス等の分類において、対象食品の通常の喫食方法による「加熱」及び「生食」から、「調理、過熱後に喫食される食品」及び「そのまま喫食される調理済み食品あるいは生食される食品」に改める。
	・ハザード等の分類のうち微生物・ウイルス等の加熱においては、リステリア菌及び腸炎ビブリオ菌を削除し、黄色ブドウ球菌を黄色ブドウ球菌毒素とし、生食においては、黄色ブドウ球菌を黄色ブドウ球菌毒素とし、ビブリオ・バルニフィカス、原虫、寄生虫、A型肝炎ウイルス、B型肝炎ウイルス等を追加してはどうか。または、細菌の各名称の記載をやめて「細菌類」や「ウイルス」のようにひとまとめにした表現で記載してはどうか。	○ハザード等の分類のうち微生物・ウイルス等の分類において、[ハザードの事例]について、細菌類やウイルスはそれぞれひとまとめとして「細菌類」、「ウイルス」の表現に改めるとともに「細菌生産毒素」を追記する。併せて、「そのまま喫食される調理済み食品あるいは生食される食品」の区分に「寄生虫、原虫」を追記する。
山本専門委員	・ハザード等の種類等の分類に関して、ADIやTDIの設定の有無で二者択一的に分類するのではなく、例えば、「ARFD、ADI、TDIの設定のあるもの」と「その他」に分類し、発癌物質等そもそもADI等の設定がなじまないハザードも整理できるようにしてはどうか。 ・「基準値、参照用量の設定があるもの」と「その他」に分類する方法もある。	○ハザード等の分類のうち化学物質、自然毒等の分類において、ADIやTDIの設定の有無による「あり」及び「なし」から、「基準値、参照用量等(化学物質の場合は、)ADIやTDI等の設定がある物質」及び「その他(上記以外)」に改める。
事務局の修正案	・より適する表題に改めてはどうか。	○表題において、「緊急事態等においてハザード等に対応し充実すべき情報提供の場合分け(例)」から、「緊急事態等におけるハザード別の情報提供の場合分けめやす(案)」に改める。
	・健康影響の程度等の分類の記述について、社会的反響の大きさについても考慮してはどうか。	○健康影響の程度等の分類の記述において、①及び②のそれぞれに「社会的反響が大きいと考えられる」を追記する。
	・備考にH21訓練時の事例等を記載してはどうか。	○備考に「H21訓練時に作成」等の事例を追記する。
	・自然毒等のうち分類に「ふぐ毒」や「麻痺性貝毒」以外にも基準値の設定がある物質も考慮してはどうか。	○[ハザードの事例]について、自然毒等のうち「基準値の設定がある物質」の分類に「等一部マリントキシン」を追記する。
	・きのこ毒についても考慮してはどうか。	○[ハザードの事例]について、自然毒等の分類に「きのこ毒」を追記する。
	・未審査遺伝子組み換え作物全般についても考慮してはどうか。	○[ハザードの事例]について、その他(分類不能のもの等)の分類のうち「未審査遺伝子組み換えトウモロコシBt10」を「未審査遺伝子組み換え作物」に変更する。